

第4回 高知港における地震津波防護の対策検討会議 議事要旨

日 時：平成 27 年 3 月 10 日（火） 16：00～17:30

場 所：サウスブリーズホテル 2F「アニエス」

出席者：別紙のとおり

1. 開会挨拶（国土交通省 四国地方整備局 港湾空港部長）
2. 委員、関係者の紹介
3. 議事
（別途検討会議資料を説明）
4. 閉会挨拶（高知県 土木部 副部長）

指摘事項等

【資料1】

- 東日本大震災の事例ではハード対策だけでは対応しきれないことを地域の方々に説明する必要がある。（富田委員）
- L1 津波と L2 津波の定義について、わかりやすく説明する必要がある。（磯部座長）
- 防災と減災の考え方を明確にし、ソフト対策の対応方針を説明してほしい。（原委員）

【資料2】

- 洪水・高潮シミュレーション結果でピーク時間をずらして検討した結果を資料に反映すべきである。備考欄にピークの時間差をとったが、最大何 cm の差であったか記載すること。（磯部座長、富田委員）
- 津波対策を実施しても、水質は漁業・生態系への影響はほとんどないという理解でよいか。多種多様な生物に対する影響については今後詳細に検討するというでよいか。（原委員）
- 多種多様な生物への影響は今後詳細に検討していきたい。（事務局）
- 航行船舶への見通しの悪さについて、昼間・夜間についてどのような面で見えにくいのか示して欲しい。言葉では説明しにくい点があるため、説明しやすい資料を取りまとめて欲しい。（原委員）
- 孕地区については、南北方向に加え、東西方向からの船舶の進入が考えられる。そういった面で影響を与える可能性があると考えている。（事務局）
- 潮流・水質シミュレーション結果について、基本ケースとの差を示しており、一方で水

質観測結果を< >でまとめてあるが、幅・バラツキの中におさまっているのかがわかりやすいようにしてほしい。平均値に対して約何%というものを追記したり、観測値の平均値に対し、年変動がどの程度あるかを追記したりするなど、表現を工夫してほしい。
(磯部座長、富田委員)

- 潮流・水質シミュレーションの結果について、全て定量的な評価結果に取りまとめること。(磯部委員)
- 粘り強い構造を示すときに、地震力に対する粘り強さと津波外力に対する粘り強さを明確にし、着眼点を整理した方がわかりやすいと思われる。(原委員)
- 施設の現状について整理した上で、どのような対策が必要か、どのような粘り強い構造が考えられるかを整理していきたいと考えている。(事務局)
- 洪水・高潮シミュレーションの結果ではタイムラグを考慮しても変化はなかったということ的前提として検討すると、対策案①が最も水位変化がなかった。また、潮流・水質シミュレーションの結果からは対策案①が最も変化が少ないこと、孕地区に固定式構造物を設置することで孕地区の上流側で淡水が停滞し海水交換が悪化することを意味するため、通常はあまりよろしくないというコメントを追記した方が良い。(磯部座長)
- 検討結果まとめでノコギリガザミへの影響は軽微という表現と記載されているが、影響があるともとらえられる。生息環境の範囲内という表現に修正した方が良い。(磯部座長、平田副部長)
- 検討結果まとめで生態系への影響が懸念という表現も修正した方が良い。生態系への影響はここでは記載せず、数値的に示した方がよい。(磯部座長、原委員、富田委員)

【資料3】

- 水門の背後にラインを示しているが、ラインは不要ではないか。(槇山所長)
- 部分的に地盤改良や嵩上げが必要となるため、ラインを引いている。(事務局)
- 地域の重要度のまとめ方(防災と復旧・復興)の概念について、分けて記載した方が良い。観点の内、2点目までは防災の観点で3点目以降は復旧・復興の観点と分けた方が良い。(磯部座長、原委員)
- 燃料備蓄施設を守る施設とあるが、復旧・復興の観点から見ると発電所などのエネルギー関係についても観点に取り入るか検討した方が良い。県民生活や早期の復旧・復興という表現は異質なものの組合せであるため、表現をわかりやすく修正すること。重要な施設の一つに燃料備蓄施設があるという位置づけにしても良いのではないか。(磯部座長、富田委員)
- 若松町の特性として、長期浸水エリアであることを追記した方が良い。(竹崎課長)

【資料4】

- 今後のスケジュールでパブリックコメントを平成27年春頃と記載してあるが、いつ頃を想定しているのか。座長としてはなるべく早期にパブリックコメントを実施し、できるだけ早く着手することが大事と考える。(磯部座長、富田委員)

【まとめ】

- 事務局提案スケジュールのとおり進めるものとする。

(別紙)

検討会議出席者

	所 属	役 職	氏 名	備 考
委 員	高知工科大学	副学長	磯部 雅彦	座長
	高知大学 農学部	教授	原 忠	
	(独)港湾空港技術研究所 海洋情報・津波研究領域	領域長	富田 孝史	
関係者	高知県 危機管理部	部長	野々村 毅	
	(代理 危機管理部 南海トラフ地震対策課	課長	竹崎 幸博)	
	高知県 土木部	副部長	平田 幸成	
	高知市 防災対策部	副部長	弘瀬 優	
	(代理 防災対策部 地域防災推進課	課長	横山 成朗)	
	高知市 都市建設部	副部長	清水 博	欠席
	国土交通省 四国地方整備局 港湾空港部	部長	東島 義郎	
	国土交通省 四国地方整備局 高松港湾空港技術調査事務所	所長	槇山 正	
事務局	高知県 土木部 港湾・海岸課	課長	中城 盛男	
	国土交通省四国地方整備局 高知港湾・空港整備事務所	所長	杉田 博章	
	高知港湾・空港整備事務所 企画調整課	課長	火口 誠	